

ピアニスト・河村泰子CDデビュー記念!!
現代抒情主義の先駆者・吉松 隆が河村泰子に贈る新曲。

河村泰子 + 吉松 隆

[ピアノ]

トーク + ミニ・コンサート + サイン会

[作曲家]

アトム・ハーツ・クラブ(原子心倶楽部)の正式名は「ドクター・タルカス・アトム・ハーツ・クラブ(Dr.Tarkus's Atom Hearts Club)」。

これは、ロックの名盤であるビートルズの「サージェント・ペパーズ・ロンリー・ハーツ・クラブ・バンド」とピンク・フロイドの「アトム・ハート・マザー(原子心母)」およびエマーソン・レイク&パーマーの「タルカス」を足して「鉄腕アトム」の10万馬力でシェイクした音楽を目指す…というコンセプトによる音楽倶楽部。人間の音楽史における現代の正統な継承者は「(クラシック音楽系の)現代音楽」などではなく「ロック」である! という視点による秘密同好会である。

[吉松 隆 ☆ ブックレットより]

河村泰子 ☆ ピアノ

芦屋市在住。金澤見早子、E.Ulmer、池田洋子の各氏に師事。神戸女学院大学音楽学部ピアノ科卒業。同大学にてハンナ・ギュリック・スエヒロ奨学賞を受賞。神戸女学院大学定期演奏会にてソリストとして選ばれる。アメリカにてデュオ・コンサートを開催、「サマー・ミュージック・フェスティバル大阪」等、ソロ・室内楽・伴奏などで多くの演奏会に出演する他、コンサート企画やCM、学校や施設への訪問演奏、バレエ・ピアニストなど幅広く活動を展開。吉松 隆 作品の演奏をライフワークとし、2006年より「吉松 隆 作品シリーズ」をスタート、多くのメディアで絶賛される。10月に宝塚ベガ・ホールにて手塚治虫生誕80周年記念事業「河村泰子とアトム・ハーツの仲間たち」を開催、11月には第2回「吉松 隆 作品シリーズ」を開催し、委嘱作品を初演する。

吉松 隆 ☆ 作曲

1953年、東京生まれ。少年時代は手塚治虫のような漫画家か、お茶の水博士のような科学者になろうと思っていたが、中学3年の時に突然クラシック音楽に目覚め、慶應義塾大学工学部を中退後、一時、松村禎三に師事したほかはロックやジャズのグループに参加しながら独学で作曲を学ぶ。1981年に「朱鷺によせる哀歌」でデビュー。以後いわゆる「現代音楽」の非音楽的な傾向に異を唱え、調性やメロディーを復活させた「新(世紀末)抒情主義」および「現代音楽撲滅運動」を主唱、5つの交響曲や9つの協奏曲を始めとするオーケストラ作品を中心に、〈鳥のシリーズ〉などの室内楽作品、〈プレイアデス舞曲集〉などのピアノ作品のほか、ギター、作品、舞台など数多くの作品を発表。作品は国内および海外で数多くCD化され、クラシックというジャンルを越えた幅広いファンの支持を得ている。



©Toshiya Hori

●日時: **9月27日** 日 15:00

★ミニ・コンサートは無料でお楽しみ頂けます!

●場所: JEUGIA三条本店3F 6F イベントスペース (J-SQUARE)

●お問い合わせ: JEUGIA三条本店3F ☎075-254-3730

★サイン会参加資格: 9/25発売CD「吉松 隆:アトム・ハーツ・クラブ」(CMCD-28162)をお買い上げの方
(事前にCDをお買い上げの方には参加券をお渡します)



ピアニスト・河村泰子のCDデビュー記念盤!

吉松 隆 & 河村泰子が温めてきた〈アトム・プロジェクト〉がついに実現。音とリズムがアトムのカで踊りだす

吉松 隆:アトム・ハーツ・クラブ / 河村泰子

- ① アトム・ハーツ・クラブ・トリオ 第1番 op.70d(1997/2005) [初録音]
- ② アトム・ハーツ・クラブ・トリオ 第2番 op.79b(1999/2007) [初録音]
- ③ レグルス回路 op.7(1979)
- ④ デジタル・パード組曲 op.15(1982)
- ⑤ ピアノ四重奏曲「アルリシヤ」 op.30(1987) [初録音]
- ⑥ ピアノ・フォルオ…消えたプレイアードに寄せて(1997)

河村泰子(ピアノ) / 中務晴之(フルート)
友永健二(ヴァイオリン) / 黒田育世(チェロ)

[CD] CMCD-28162 ¥2,940(税込)

録音: 2008年4月 / 宝塚ベガ・ホール(兵庫)
協力: 財団法人 宝塚市文化振興財団
©手塚プロダクション

9月25日
発売新譜